

## 製品構成情報シート

製造者情報	会社名	フクビ化学工業株式会社	
	住所	福井県福井市三十八社町 33-66	〒918-8585
	担当部門	マネジメントシステム部	
	連絡先	TEL 0776-38-8031	FAX 0776-38-8404
	作成	2003年5月1日	
	改訂	2020年4月15日	

商品名 **アリダンSV-P工法**

製品の構成	構成材質 / 成分
アリダンVシート / VシートBK (防蟻成分)	エチレン酢酸ビニル共重合樹脂、 シラフルオフェン、イミダクロプリド
アリダンGAジョイントV	レーヨン、ポリエチレン、再生ゴム、 石油樹脂、プロセス油
アリダンA剤ホワイトIIW (※) (防蟻成分)	スチレン・ブタジエン系ラテックス シラフルオフェン、イミダクロプリド
アリダンコーキングSH1500 (※) (防蟻成分)	アクリル樹脂系エマルジョン シラフルオフェン、イミダクロプリド
アリダンコーキング3SH600 (※) (防蟻成分)	アクリル樹脂系エマルジョン シラフルオフェン、イミダクロプリド

(※) 安全データシート参照

含有化学物質名	含有部位	含有率	CAS No.
---------	------	-----	---------

**【含有化学物質に関するその他の情報】**

本製品では建築基準法においてシックハウス対策として指定されている揮発性有機化合物のクロルピリホス、ホルムアルデヒドの使用はありません。

この他、シックハウス対策として厚生労働省では「室内濃度の指針値」でクロルピリホス、ホルムアルデヒドの他、トルエン、キシレンなど全14種類の揮発性有機化合物を指定していますが、本製品ではいずれも使用はありません。

# 安全データシート

## 1. 化学品および会社情報

化学品名：アリダンA 剤ホワイトIIW

会社名：フジ化学工業株式会社

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

担当：マネジメントシステム部

電話：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2002年10月20日 改定：2015年2月9日

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 物理化学的危険性

- ・ いずれの項目についても区分外、分類対象外、または分類できない。

#### 健康に対する有害性

- ・ 急性毒性（経口）：区分4
- ・ 急性毒性（経皮）：区分5
- ・ 急性毒性（吸入：蒸気）：区分4
- ・ 生殖毒性：区分2
- ・ その他の項目についてはいずれも区分外または分類できない。

#### 環境に対する有害性

- ・ 水生環境有害性（急性）：区分2
- ・ 水生環境有害性（長期間）：分類できない。
- ・ ガソ層への有害性：分類できない。

シンボル・絵表示：感嘆符・健康有害性

注意喚起語：警告

#### 危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害。
- ・ 皮膚に接触すると有害のおそれ。
- ・ 吸入すると有害（蒸気）。
- ・ 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
- ・ 水生生物に毒性。

### 注意書き

#### [安全対策]

使用前に取り扱い説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解する。

蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所で取り扱う。

必要に応じて個人用保護具を使用する。

取り扱いの後は手を良く洗う。

環境への排出を避ける。

#### [応急処置]

ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診断、手当を受ける。

#### [保管・貯蔵]

施錠して保管する。

#### [廃棄]

内容物や容器を廃棄する場合は、許可を受けた専門の業者に処理を委託する。

### 3. 組成・成分情報

単一製品、混合物の区別：混合物

成分・含有量

#### [成分]

スチレン<sup>g</sup> タジエンゴ<sup>m</sup> ムラックス 40 - 50 %

界面活性剤 1 % 以下

シアルフェン 0.2 % 未満

イタ<sup>g</sup> クロ<sup>o</sup> リト<sup>g</sup> 0.1 % 未満

### 4. 応急処置

目に入った場合 : 直ちに清浄水で15分以上洗浄、医師の診断、手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布で拭き取る。水と石鹼で付着した部分を洗う。

外観の変化や痛みがある場合には医師の手当を受ける。

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保つ。

気分の悪いときは医師の診断、手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせずに、直ちに医師の診断、手当を受ける。

口の中をすすぐ。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡。

使ってはならない消火剤 : 特になし。

特有の危険有害性 : 特になし。

特有の消火方法 : 適切な保護具を着用する。可燃性のものをすばやく周囲から取り除く。

消火を行う者の保護 : 消火者は必ず適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

ばく露防止のため、適切な保護具を着用する。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を取り除き、風下の人を避難させる。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

回収作業においては、火花を発生しない材質の用具を用いて回収する。

環境に対する注意事項

漏出したものを下水や側溝等に流してはならない。

除去方法

少量の場合は、布等に吸収させて回収する。

大量の場合は、流路を土嚢等でせき止めたうえで回収する。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

### 取り扱い

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。適切な保護具を着用する。

換気の良い場所で取り扱う。

取り扱いの後は手洗い等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。

### 保管

乾燥、固化防止のため、使用後は密封して保管する。

子供の手の届かない所に置く。

凍結、直射日光を避け屋内で保管する。

0℃以下、40℃以上になる場所には置かない。

## 8. ばく露防止および保護措置

密閉場所で作業する場合には排気装置を設ける。

取り扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度、許容濃度：設定されていない。

### 保護具

呼吸用保護具：マスク。

目の保護具：保護メガネ。

皮膚の保護具：長袖作業衣。

手の保護具：ゴム手袋。

## 9. 物理的および化学的性質

外観：乳白色液体

pH：5 - 8

比重：1

溶解性：水に可溶

## 10. 安定性および反応性

安定性：長期保管で分離する場合がある。使用前には攪拌する。

反応性：強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件：0℃以下の低温、40℃以上の高温。

危険有害な分解生成物：特になし。

## 11. 有害性情報

組成物質の急性毒性：

<急性毒性>

・ シラロオフィン

(経口) - 5,000mg/kg 以上 (ラット LD50)

(経皮) - 5,000mg/kg 以上 (ラット LD50)

(吸入) - 6,610mg/L・4hr 以上 (ラット LC50)

- ・ イタノコノリト  
（経口） - 440mg/kg 以上（ラット-オス LD50）  
（経口） - 410mg/kg 以上（ラット-メス LD50）  
（経皮） - 5,000mg/kg 以上（ラット LD50）  
（吸入） - 5,323mg/L・4hr 以上（ラット LC50）  
急性毒性（経口）：区分 4  
急性毒性（経皮）：区分 5  
急性毒性（吸入：蒸気）：区分 4  
生殖毒性：区分 2

## 12. 環境影響情報

有用なデータはないが、河川や湖沼等に流入した場合、水生生物に影響が出ることが考えられる。

## 13. 廃棄上の注意

内容物や容器は、許可を受けた業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
第一類、第六類の危険物、または高圧ガスと混載しない。

## 15. 適用法令

毒物劇物取締法：該当しない。  
労働安全衛生法：該当しない。  
化管法：該当しない。  
消防法：該当しない。

## 16. その他の情報

<参考文献>

- ・ 事業者向け GHS 分類ガイド（平成 25 年度改訂版）：経済産業省
- ・ 化学物質総合情報提供システム（CHRIP）：独立行政法人製品評価技術基盤機構
- ・ 国際化学物質安全性カード（ICSC）：国立医薬品食品衛生研究所
- ・ 15107 の化学商品：化学工業日報社

危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには注意してください。

本書は、本品を適正に使用頂くために注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の手続きを対象としたものです。

本品を取り扱う場合は、本書を参照のうえ、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は保証をするものではありません。また、法令の改正および新しい知見に基づいて改訂される場合があります。

# 安全データシート

## 1. 化学品および会社情報

品名：アリダノキック SH1500

社名：フジ化学工業株式会社

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

担当：マシントシステム部

電話：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2002年10月20日 改定：2015年10月9日

## 2. 危険有害性の要約

### <GHS分類>

物理化学的危険性：いずれの項目も、区分外、分類対象外、または分類できない。

健康に対する有害性：

- ・ 皮膚腐食性/刺激性 区分2
- ・ 眼の損傷性/刺激性 区分1
- ・ 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（気道刺激性）
- ・ 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（肺：吸入・呼吸器系）
- ・ その他の項目は、区分外、分類対象外、または分類できない。

環境に対する有害性：いずれの項目も、区分外、分類対象外、または分類できない。

### <GHSラベル要素>

絵表示：健康有害性

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

[H315] 皮膚刺激。

[H318] 重篤な眼の損傷。

[H335] 呼吸器への刺激のおそれ。

[H373] 長期にわたる、または反復ばく露による臓器（肺：吸入・呼吸器系）の障害。

### <注意書き>

安全対策：

[H261] 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避ける。

[P264] 取り扱い後は手を良く洗う。

[P270] 本品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。

[P271] 屋外、または換気の良い場所でのみ使用する。

[P280] 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。

応急措置：

[P302+P352] 皮膚に付着した場合、多量の水で良く洗う。

[P304+P340] 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

[P308+P313] ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡する。

[P332+P313] 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。

[P305+P351+P338] 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

[P305+P310] 眼に入った場合、直ちに医師に連絡する。

保管：

[P405] 施錠して保管する。

廃棄：

[P501] 内容物や容器を廃棄する場合は、許可を受けた専門の業者に処理を委託する。

### 3. 組成および成分情報

単一製品、混合物の区別：混合物

成分・含有量：

アクリル・アルキルエステル共重合樹脂 35 - 45 %

水酸化アルミニウム 15 - 20 %

二酸化チタン 1 % 未満

酸化鉄(Ⅲ) 1 % 未満

イミダクワリト<sup>®</sup> 0.2 % 未満

シアルオフェン 0.2 % 未満

### 4. 応急処置

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗う。

コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合：

多量の水で良く洗う。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分の悪いときは医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：

直ちに医師に連絡する。

無理に吐き出させない。口の中が汚染されている場合には水で洗う。

### 5. 火災時の措置

消火剤：粉末、二酸化炭素、泡。

使ってはならない消火剤：特になし。

特有の危険有害性：特になし。

特有の消火方法：適切な保護具を着用する。可燃性のものをすばやく周囲から取り除く。

消火を行う者の保護：消火者は必ず適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

ばく露防止のため、適切な保護具を着用する。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を取り除き、風下の人を避難させる。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

回収作業においては、火花を発生しない材質の用具を用いて回収する。

環境に対する注意事項：

漏出したものを下水や河川等に流さない。

除去方法：

少量の場合は、布等に吸収させて回収する。

大量の場合は、流路を土嚢等でせき止めたうえで回収する。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。適切な保護具を着用する。

局所排気装置、全体排気装置などのある換気の良い場所で取り扱う。

取り扱いの後は手洗い等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。

保管：

乾燥、固化防止のため、使用後は密封して保管する。

子供の手の届かない所に置く。

凍結、直射日光を避け屋内で保管する。

0℃以下、40℃以上になる場所には置かない。

## 8. ばく露防止および保護措置

密閉場所で作業する場合には排気装置を設ける。

取り扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度、許容濃度：設定されていない。

保護具：

呼吸用保護具：マスク。

眼の保護具：保護メガネ。

皮膚の保護具：長袖作業衣。

手の保護具：ゴム手袋。

## 9. 物理的および化学的性質

外観：白〜クリーム色粉末状

pH：6 - 9

溶解性：水に可溶

## 10. 安定性および反応性

安定性：長期保管で分離する場合がある。

反応性：通常の取り扱いでは反応しない。

避けるべき条件：0℃以下の低温、40℃以上の高温。強酸化剤との接触。

危険有害な分解生成物：特になし。

## 11. 有害性情報

組成物質の急性毒性：

シラフルオフェン

(経口) - 5,000mg/kg 以上 (ラット LD50)



(経皮) - 5,000mg/kg 以上 (ラット LD50)

イミダクワリト

(経口) - 440mg/kg 以上 (ラット-オス LD50)

(経口) - 410mg/kg 以上 (ラット-メス LD50)

製品の有害性情報 : 製品としての安全性試験は行っていない。

## 12. 環境影響情報

有用なデータはないが、河川や湖沼等に流入した場合、水生生物に影響が出ることが考えられる。

## 13. 廃棄上の注意

内容物や容器は、許可を受けた業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

転倒、落下ならびに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

第一類および第六類の危険物、高圧ガスと混載しない。

## 15. 適用法令

毒物劇物取締法 : 該当しない。

労働安全衛生法 : 令別表第九 (二酸化チタン)

化学物質管理促進法 : 該当しない。

消防法 : 該当しない。

## 16. その他の情報

参考資料

- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
- ・ 化学工業日報社 15307 の化学商品

本書の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで、使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質の保証をするものではありません。

# 安全データシート

## 1. 製品および会社情報

製品名 : アリダ<sup>®</sup>ソコ<sup>®</sup>キング<sup>®</sup> 3SH600  
会社名 : フクビ<sup>®</sup>化学工業株式会社  
住所 : 福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585  
担当 : マネジメントシステム部  
電話 : 0776-38-8031 FAX : 0776-38-8404  
作成 : 2002年8月1日 改定 : 2015年1月27日

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

- ・ 物理化学的危険性 : いずれの項目についても、分類対象外、または分類できない。

### 健康に対する有害性

- ・ 皮膚腐食性・刺激性 区分3
- ・ 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（中枢神経系・視覚器）
- ・ その他の項目については、区分外、分類対象外、または分類できない。

### 環境に対する有害性

- ・ 水生環境有害性（急性）: 区分3
- ・ 水生環境有害性（長期間）: 区分外
- ・ 水圏層への有害性 : 分類できない。

シボル・絵表示 : 健康有害性

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 :

- ・ (H316) 軽度の皮膚刺激。
- ・ (H373) 長期または反復ばく露による臓器（中枢神経系・視覚器）の障害のおそれ。
- ・ (H402) 水生生物に有害。

注意書き

[予防策]

- ・ (P201) 使用前に取り扱い説明書を入手する。
- ・ (P202) すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない。
- ・ (P260) 粉じん、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。
- ・ (P273) 環境への放出を避ける。

[対応]

- ・ (P332+P313) 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受ける。
- ・ (P309+P311) ばく露したとき、または気分が悪いときは医師に連絡する。
- ・ (P305+P351+338) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合には外す。その後も洗浄を続ける。
- ・ (P337+P313) 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受ける。

[保管]

- ・ (P410+P403) 直射日光を避け、冷涼な換気の良い場所で保管する。

[廃棄]

- ・ (P501) 内容物や容器を廃棄する場合は、許可を受けた専門の業者に処理を委託する。

### 3. 組成・成分情報

単一製品、混合物の区別：混合物

成分・含有量：

アクリル・アルキルエステル共重合樹脂 25 - 35 %

水酸化アルミニウム 40 - 50 %

N-メチル-2-ピロリドン 1 % 未満

メタノール 0.5 - 2 %

イミダクワリド 0.2 % 未満

シラフルオフェン 0.2 % 未満

### 4. 応急処置

眼に入った場合：直ちに清浄水で15分以上洗浄、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合：付着物を布で拭き取る。水と石鹼で付着した部分を洗う。

外観の変化や痛みがある場合には医師の手当を受ける。

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで覆い、保温して安静に保つ。

気分の悪いときは医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせずに、直ちに医師の手当てを受ける。

口の中が汚染されている場合には水で十分に洗う。

### 5. 火災時の措置

消火剤：粉末、二酸化炭素、泡。

使ってはならない消火剤：特になし。

特有の危険有害性：特になし。

特有の消火方法：適切な保護具を着用する。可燃性のものをすばやく周囲から取り除く。

消火を行う者の保護：消火者は必ず適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

ばく露防止のため、適切な保護具を着用する。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を取り除き、風下の人を避難させる。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

回収作業においては、火花を発生しない材質の用具で回収する。

環境に対する注意事項

漏出したものを下水や側溝等に流してはならない。

除去方法

少量の場合は、布等に吸収させて回収する。

大量の場合は、流路を土嚢等でせき止めたうえで回収する。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

### 取り扱い

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。適切な保護具を着用する。

局所排気装置、全体排気装置などのある換気の良い場所で取り扱う。

取り扱いの後は手洗い等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。

### 保管

乾燥、固化防止のため、使用後は密封して保管する。

子供の手の届かない所に置く。

凍結、直射日光を避け屋内で保管する。

5℃以下、35℃以上になる場所には置かない。

## 8. ばく露防止および保護措置

### 設備対策

密閉場所で作業する場合には排気装置を設ける。

取り扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

### 管理濃度、許容濃度

マニール : ACGIH TLV-TWA 200ppm、TLV-STEL 250ppm

### 保護具

呼吸用保護具 : マスク。

目の保護具 : 保護メガネ。

皮膚の保護具 : 長袖作業衣。

手の保護具 : ゴム手袋。

## 9. 物理的および化学的性質

外観 : ページュ色ペーペースト状。

臭い : かすかな刺激臭。

pH : 6.5 - 8.5

比重 : 1.3

溶解性 : 水に可溶。

## 10. 安定性および反応性

安定性 : 長期保管で分離あり。

反応性 : 強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件 : 5℃以下の低温、35℃以上の高温。

危険有害な分解生成物 : 特になし。

## 11. 有害性情報

### <急性毒性>

#### ・シラフルオフェン

(経口) - 5,000mg/kg 以上 (ラット LD50)

(経皮) - 5,000mg/kg 以上 (ラット LD50)

(吸入) - 6,610mg/L・4hr 以上 (ラット LC50)

・イミダゾプロリト

(経口) - 440mg/kg 以上 (ラット-オス LD50)

(経口) - 410mg/kg 以上 (ラット-メス LD50)

(経皮) - 5,000mg/kg 以上 (ラット LD50)

(吸入) - 5,323mg/L・4hr 以上 (ラット LC50)

<皮膚腐食性・刺激性>

界面活性剤の皮膚刺激性区分3による。

<特定標的臓器毒性 (反復ばく露) >

アクリル・アルキルエステル共重合樹脂の特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分3による。

(中枢神経系、視覚器)

## 12. 環境影響情報

<水生環境有害性 (急性) > 区分3。

河川や湖沼等に流入した場合、エマルジョン粘着性により水生生物に影響が出る場合があることによる。

## 13. 廃棄上の注意

内容物や容器は、許可を受けた業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

転倒、落下ならびに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

第一類、第六類の危険物、および高圧ガスと混載しない。

## 15. 適用法令

毒物劇物取締法：該当しない。

労働安全衛生法：マノール (通知すべき危険物および有害物)

化学物質管理促進法：該当しない。

消防法：該当しない。

## 16. その他の情報

<参考文献>

- ・ 事業者向け GHS 分類ガイド (平成 25 年度改訂版) : 経済産業省
- ・ 化学物質総合情報提供システム (CHRIP) : 独立行政法人製品評価技術基盤機構
- ・ 国際化学物質安全性カード (ICSC) : 国立医薬品食品衛生研究所
- ・ 15107 の化学商品 : 化学工業日報社

危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには注意して下さい。

この安全データシートは、本品を適正に使用頂くために注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。

本品を取り扱う場合は、この安全データシートを参照のうえ、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正および新しい知見に基づいて改訂する場合があります。